

都路 チャレンジ教室

絵付け体験をしよう！

9月19日、第4回都路チャレンジ教室が会津訪問で行われ、17人の小学生が参加しました。

参加者は、会津若松市の民芸の館「松良」で、白虎刀やガラス皿を選び、絵付けを体験しました。特殊な絵の具で絵や文字を描く作業でしたが、絵の具がすぐに固まってなかなか出てこないのが苦労していました。でも、最後まで丁寧に描いたので、全員が納得のいく作品に仕上がったようです。

その後、さざえ堂や道の駅猪苗代へ立ち寄り、有意義な一日を過ごすことができました。



上郷そばフェスティバル

地域活性化・世代間交流の催し



9月17日、上郷そばフェスティバルが滝根町の針湯ゲートボール場駐車場で開かれ、家族連れなどの来場者がこだわりの地元産そばを堪能しました。打ちたて・ゆでたてのざるそばと揚げたての天ぷらを振る舞ったのは、地域活性化と世代間交流を目的に、地元のそば愛好家などで平成27年に結成した「上郷そば倶楽部」です。

そのほかレトロカーやトラックの展示、あぶくま太鼓紅組の演奏やラジコンアクロバットなどが行われ、来場者は楽しい休日をお過ごししました。

このイベントは、市の「協働のまちづくり支援事業」を活用して開催されたものです。

秋の全国交通安全運動

日頃から安全運転の徹底を



9月27日、秋の全国交通安全運動（9月21日～9月30日）に合わせて、田村市交通安全協会と田村市交通安全母の会など35人が、滝根行政局前で交通安全テント村を行いました。

参加者は、約100台の車両の運転手にチラシや啓発物を配って、早めのライト点灯やシートベルトの正しい着用など、安全運転の徹底を呼びかけました。

ドライバーの皆さん、日頃から交通安全を心がけましょう！

少年の主張 県大会

市の生徒が優秀賞を受賞

9月20日、第39回少年の主張福島県大会が須賀川市文化センターで開かれ、「友よ、この先もずっと」の題名で発表した山代綺華さん（船引南中3年、写真左）、「認める」の題名で発表した遠藤彩花さん（大越中3年、写真右）が、それぞれ優秀賞を受賞しました。

山代さん、遠藤さんは、県内の中学校180校1万4409人の応募の中で、16人の発表者に選ばれ、福島県大会に出場しました。



総合防災訓練 広がる「自助・共助・公助」

10月1日、秋晴れの中、常葉地区で田村市総合防災訓練が行われ、防災関係機関や地元協力団体など約1000人が参加しました。

常葉小・中学校では、児童・生徒が参加した避難訓練のほか、消防防災ヘリなどによる救出訓練、ドクターヘリを使った負傷者搬送訓練、ドローンを活用した消防団の捜索活動、地元住民の協力のもと倒壊建物救出訓練などが行われました。

常葉行政局周辺では、地元団体・陸上自衛隊・航空自衛隊の協力で炊き出し訓練、避難所運営訓練、郡山消防署はしご車隊による救出訓練などが行われました。

参加者は実際の災害を想定して訓練に取り組んでいて、「自助・共助・公助」の考えが広まっていると感じられました。



炊き出し訓練

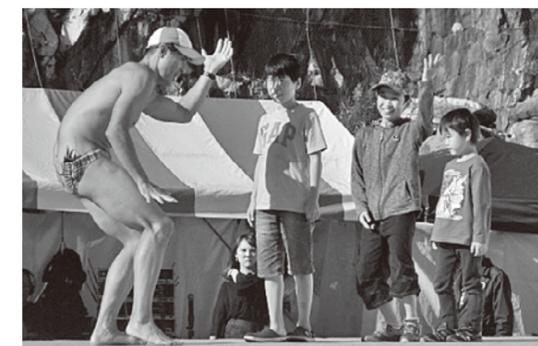


避難所運営訓練



救出訓練

あぶくま洞秋まつり 多彩なステージに歓声



市の秋のイベントとして恒例となった「あぶくま洞秋まつり」が、9月30日と10月1日、澄み渡る青空のもと、あぶくま洞特設ステージで開かれました。

1日目のステージでは、ウルトラマンジードショーのほか、人気お笑い芸人の小島よしおさんが登場し、子どもたちと一緒にリズムじゃんけんを踊るなど、大いに盛り上がりました。2日目は、鬼五郎幡五郎和太鼓保存会の勇壮な太鼓演奏などの後、メインステージの森昌子スペシャルショーが行われました。

「おかあさん」などの名曲が披露されると、来場者からの歓声と拍手が響きわたりました。

模擬店コーナーには、味ふかし、いわなの塩焼き、カレーコロッケなどの地元グルメのほか、岩瀬農業高校と田村市ご当地グルメプロジェクトが共同で開発したスイーツが並び、来場者のお腹も十分に満たされたようでした。

田村市ご当地グルメプロジェクトと岩瀬農業高校の取り組みは、約1年をかけて事業計画の立案から製造・販売・決算までのビジネスを学ぶ、地域産業の従事者育成を目的とするものです。この日は、同校の生徒12人が田村市産の山ぶどうとパッションフルーツを使用したムースゼリーやパイを、商品を製造した「都路スイーツ yui」から接客技術の指導も受けながらテスト販売しました。

今後も東京都内などで販売会を予定している生徒たちは、評判を高めて新たな6次化商品として田村市内で販売したいと意気込んでいます。

